

伊藤 洋文

希望

### 歴史民俗資料館と美術展示館の建設は

【問】新庁舎が完成した現在、この要望を着実なものに位置づけなければならない。市民の財産でもある歴史的な資料や美術、工芸品の分散は食いとめなくてはならないがその対応は。

【答】市が所有している資料に関しては、可能な限り適切な保存ができるよう、設備や管理手法について現在検討しており、並行して、個人所有の文化財等の調査を、関係団体の協力を得ながら進めていきたいと考えている。歴史民俗資料館及び美術展示館については、文化財等の保管施設設置の方向性が定まら次第、検討を進めていく。

### 能代西高跡地の利用

【問】西高跡地は広大な面積である。県と一緒に、障がい者のための福祉施設構想は考えられないか。また、西高の建物は校舎を初め付属施設が点在しているが県との協議は。

【答】施設整備については必要と考えているが、整備に当たっては、実施主体や財源、設置場所等の課題もあるため、関係機関と連携しながら検討する。西高用地については、取得後の用途が公用または公共用に限られること等が県から示されており、交換の前提条件が合意に至っておらず、建物や施設等の具体的な取り扱いの協議は進んでいない状況にある。

#### その他の質問事項

- 子供向けの屋内遊具施設が必要では
- 市道萩の台線の拡幅と、風の松原整備事業は
- 老人憩の家（白瀟亭）の今後

小林 秀彦

改革ネットワーク青の会 市民の声、シリウス、大河の会、日本共産党

### (仮称)イオン新能代SC出店時期

【問】イオンは造成工事の工期終了予定を来年の11月30日までに延期した。そうであれば、おのずと出店時期は決まってくると思うが、なぜ出店時期を明らかにしないのか。

【答】本定例会前にイオングループのディベロッパー部門の責任者より、「建設予定地の地盤改良を行ってきたが、沈下が収まっておらず収束するにはまだ時間を要することから、軟弱地盤対策に関係する造成工事の期間がはつきりしないため、開店時期については現段階では明示できない。」との報告を受けている。

### 国保短期被保険者証の発行

【問】国保税滞納者の中で10割負担の資格証明書が発行される場合があるが、市民の命と健康を守るためにも、せめて短期被保険者証の発行にすべきでは。

【答】特別の事情もなく長期にわたり国保税を滞納している被保険者に対しては、負担の公平を図る観点から資格証明書を交付すべきものと考えている。機械的に行うのではなく、納税相談を促すとともに、特別の事情がないことを把握し交付している。交付後に滞納額が著しく減少した場合や納税誓約をした場合などは、短期被保険者証へ切りかえをしている。

#### その他の質問事項

- 洋上風力発電計画
- 生活保護の不適切な事務処理

菅原 隆文

希望

### 人口減少対策、地元を知る具体的な処方箋は

【問】人口減少対策として、地元愛を持つことと地元企業を知ることが、若者のUターンの土台となる。幼少からのふるさと学習と、作業を伴う地元の仕事を体験する機会をふやすべきではないか。

【答】市では現在、国、県、関係団体等と連携し、高校生を対象とした企業説明会や小・中学生を対象とした企業訪問、職場体験事業等を実施している。今年度は中学生向け企業説明会の開催を検討しており、今後小・中・高生に地元企業を知ってもらうための施策を継続して実施し、若者の地元定着を促進していきたい。

### 増加する危険な空き家対策、解体に補助金を

【問】危険な空き家が年々ふえている。空き家条例や空き家等対策計画に基づき処理されているが、アンケートの回答でも要望される、解体のきっかけとなる補助金対応を考える時期ではないか。

【答】空き家は、私有財産であり、所有者の責任において適切な管理に努めることが基本となるが、年々増加し、今後増加が見込まれる。補助金制度は危険な空き家の増加を抑制し、危険度の高い空き家の除去対策として一定の効果が期待できることから、制度設計等の検討を進めている。

#### その他の質問事項

- 若者の地元企業就労に祝い金制度を
- 全国空き家バンク推進機構と連携する考えは
- 人気の道の駅ふたつについて、課題と展望